

汚染防止の取り組み

▶ プリント基板表面コーティング剤切替による PRTR 物質の削減

芝浦機械グループでは2006年からPRTR物質の削減に取り組んでいます。この取り組みでは、塗装工程での塗料の切替・溶剤の効率的な使用を中心に活動し、2013年には対2000年度比79%の排出量を削減しました。2019年度は関係会社のプリント基板製造ラインで使用していたトルエン含有量79%の表面コーティング剤をトルエン含有量0%のものに転換するなどの取り組みの結果、PRTRは2000年度比92%の排出量を削減しました。

コーティング剤の転換にあたっては、変更前と変更後の性能を比較するための技術資料収集・メーカー打合せ、指定膜厚を決めるための配合率の検証等に時間を要しましたが、関係者の協力で実現することができました。

大気汚染物質

大気汚染物質の排出量は、ばいじん、窒素酸化物、硫黄酸化物とも大きな増減はありませんでした。

各生産拠点では、省エネ活動を継続して実施し、沼津・相模・御殿場工場の鋳物溶解炉、ボイラー等の全特定施設で、排出基準・協定値を下回っています。

水質汚濁物質

水質汚濁物質の排出量の大きな増減はありませんでした。沼津・相模・御殿場工場、不二精機製造所の生産拠点についても排水基準・協定値をクリアしています。

VOCの排出

VOC規制対象の沼津工場の塗装施設では排出基準・沼津市届出値をクリアした状況を保っています。静岡県内の光化学オキシダント緊急時対策実施要領にもとづき、協力・連絡体制も構築しています。

騒音・振動・悪臭への対応

騒音・振動はグループ各社・工場の規制基準をすべての箇所・時間帯ともクリアしました。悪臭は規制されたすべての対象工場境界で基準を満たしていることを確認しています。

土壌・地下水汚染への対応

沼津工場第14工場の六価クロム汚染土壌について、周辺地下水のモニタリングを継続しており、汚染の拡大がないことを確認しています。

▶ 化学物質管理

全社をあげて取り組んできたPRTR対象物質削減については2030年度目標値をクリアできたため、今後は監視目標とします。2019年度からは化学物質全体の総量削減をターゲットに取り組んでいます。鉛については、プリント基板等のはんだ鉛フリー化を順次進めており、新製品は全廃しています。

